

教科・科目	地理歴史・地理総合	単位数	2（前期又は後期）		
		ライン	1	開講期	前期又は後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：地理A				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 地理に関わる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多角的・多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>高等学校 新地理総合（帝国書院）</p> <p>新詳高等地図（帝国書院）</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	地理に関わる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多角的・多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深めている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1部 地図でとらえる現代世界 第2部 国際理解と国際協力 第3部 持続可能な地域づくりと私たち	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	第1部 地図でとらえる現代世界 第2部 国際理解と国際協力 第3部 持続可能な地域づくりと私たち	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	選択した時期（前期又は後期）に、2回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	選択した時期（前期又は後期）に、1回～6回のすべてに合格すること。	
試験	選択した時期（前期又は後期）に、1回合格すること。	

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録		添削担当者	先生				登録			
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK 高校講座)
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S	
前期	① 第1部 地図と地理情報システム 結び付きを深める現代世界	前1	1	2	4/19	4/20	—	4/16	第1/ 3回	
	3		4							
	② 第2部 世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活	前2	1	2	5/10	5/11	—	5/7	第4/5 /7回	
	3		4							
	③ 第2部 世界の言語・宗教と人々の生活 歴史的背景と人々の生活	前3	1	2	5/24	5/25	—	5/21	第8/ 9回	
	3		4							
	④	この回は、実施されません。								
	⑤ 第2部 世界の産業と人々の生活	前4	1	2	6/21	6/22	—	6/18	第10/ 11回	
3	4									
⑥ 第2部 地球的課題と国際協力	前5	1	2	7/5	7/6	—	7/2	第12/14 /15/16回		
3		4								
⑦ 第3部 持続可能な地域づくりと私たち	前6	1	2	7/19	7/13	—	7/16	第17/ 19回		
3		4								
⑧	この回は、実施されません。									
試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/23	8/24	—	8/27		
後期	⑨ 第1部 地図と地理情報システム 結び付きを深める現代世界	後1	1	2	10/11	10/19	—	10/8	第1/ 3回	
	3		4							
	⑩ 第2部 世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活	後2	1	2	10/25	10/26	—	10/22	第4/5 /7回	
	3		4							
	⑪ 第2部 世界の言語・宗教と人々の生活 歴史的背景と人々の生活	後3	1	2	11/8	11/9	—	11/12	第8/ 9回	
	3		4							
	⑫	この回は、実施されません。								
	⑬ 第2部 世界の産業と人々の生活	後4	1	2	12/6	12/7	—	12/3	第10/ 11回	
3	4									
⑭ 第2部 地球的課題と国際協力	後5	1	2	12/20	12/21	—	12/17	第12/14 /15/16回		
3		4								
⑮ 第3部 持続可能な地域づくりと私たち	後6	1	2	1/10	1/18	—	1/7	第17/ 19回		
3		4								
⑯	この回は、実施されません。									
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	2/7	2/8	—	2/4		

6 先生からのメッセージ

世界には様々な気候や風土、暮らしや文化、考え方があり、多様な人々が生活しています。世界の人々と理解し合うためには、視野と価値観を広げていく必要があります。基本的な知識を身に付けていくために、できるだけ毎回スクーリング出席し、分からないことがある場合は、教科別質問教室に参加し、解決していくようにしましょう。

教科・科目	地理歴史・歴史総合	単位数	2（前期又は後期）		
		ライン	1	開講期	前期又は後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：世界史A				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸問題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けるとともに、多角的・多面的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	明解 歴史総合（帝国書院）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸問題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けるとともに、多角的・多面的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1部 歴史の扉 2部 近代化と私たち 3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 4部 グローバル化と私たち	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	1部 歴史の扉 2部 近代化と私たち 3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 4部 グローバル化と私たち	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	選択した時期（前期又は後期）に、2回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	選択した時期（前期又は後期）に、1回～6回のすべてに合格すること。	
試験	選択した時期（前期又は後期）に、1回合格すること。	

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK 高校講座)	
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	① 歴史の扉 江戸時代の日本と結び付く世界 欧米諸国で生まれる国民国家	前1	1	2	4/19	4/20	—	4/16	第1/ 2回		
			3	4							
	② 産業革命による欧米とアジアの変化 日本における近代国家の形成	前2	1	2	5/10	5/11	—	5/7	第3/ 5回		
			3	4							
	③ 帝国主義の影響と日本を含めた東アジア の変化 第一次世界大戦とその影響	前3	1	2	5/24	5/25	—	5/21	第6/ 8回		
			3	4							
	④	この回は、実施されません。									
	⑤ 大衆社会の形成と社会運動 揺らぐ国際秩序と日本の行方 第二次世界大戦とその影響①	前4	1	2	6/21	6/22	—	6/18	第10/ 12回		
3			4								
⑥ 第二次世界大戦とその影響② 冷戦で揺れる世界と日本	前5	1	2	7/5	7/6	—	7/2	第13/ 15回			
		3	4								
⑦ 多極化する世界 グローバル化のなかの世界と日本	前6	1	2	7/19	7/13	—	7/16	第16/ 18回			
		3	4								
⑧	この回は、実施されません。										
試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/23	8/24	—	8/27			
後期	⑨ 歴史の扉 江戸時代の日本と結び付く世界 欧米諸国で生まれる国民国家	後1	1	2	10/11	10/19	—	10/8	第1/ 2回		
			3	4							
	⑩ 産業革命による欧米とアジアの変化 日本における近代国家の形成	後2	1	2	10/25	10/26	—	10/22	第3/ 5回		
			3	4							
	⑪ 帝国主義の影響と日本を含めた東アジア の変化 第一次世界大戦とその影響	後3	1	2	11/8	11/9	—	11/12	第6/ 8回		
			3	4							
	⑫	この回は、実施されません。									
	⑬ 大衆社会の形成と社会運動 揺らぐ国際秩序と日本の行方 第二次世界大戦とその影響①	後4	1	2	12/6	12/7	—	12/3	第10/ 12回		
3			4								
⑭ 第二次世界大戦とその影響② 冷戦で揺れる世界と日本	後5	1	2	12/20	12/21	—	12/17	第13/ 15回			
		3	4								
⑮ 多極化する世界 グローバル化のなかの世界と日本	後6	1	2	1/10	1/18	—	1/7	第16/ 18回			
		3	4								
⑯	この回は、実施されません。										
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	2/7	2/8	—	2/4			

6 先生からのメッセージ

歴史総合では、近現代の歴史の展開を、世界史だけでなく日本史の視点も活用して学習していきます。その2つの視点から歴史を見ることで自分の価値観を広げていきましょう。そのために、できるだけ毎回スクーリングに出席し、分からないことがある場合は、教科別質問教室に参加し、解決していくようにしましょう。また、ICTを活用し興味を持ったことを調べたり、映像資料を活用したりすることも有効です。

教科・科目	地理歴史・世界史探究	単位数	4（前期2＋後期2）		
		ライン	4	開講期	前期と後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：世界史B				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。</p> <p>(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を身に付けるとともに、多角的・多面的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	詳説世界史（山川出版社）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を身に付けるとともに、多角的・多面的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	世界史へのまなざし 第1部 諸地域の歴史的特質の形成 (第1章～第5章) 第2部 諸地域の交流・再編 (第6章～第10章)	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50点	50点	50点
後期	第2部 諸地域の交流・再編(第11章) 第3部 諸地域の結合・変容 (第12章～第17章) 第4部 地球世界の課題 (第18章～第19章)	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50点	50点	50点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期2回以上、後期2回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK 高校講座)
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S	
前期	① 世界史へのまなざし・第1章 文明の成立と古代文明の特質	前1	1	2	4/19	—	4/21	4/23	第1/ 2回	
			3	4						
	② 第2・3章 中央ユーラシアと東アジア、南アジアと東南アジアの展開	前2	1	2	5/10	—	5/12	5/14	第4/ 6回	
			3	4						
	③ 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	前3	1	2	5/24	—	5/26	5/28	第3回	
			3	4						
	④	この回は、実施されません。								
	⑤ 第5・6章 イスラーム教の成立と伝播及び西アジアの動向、ヨーロッパ世界の形成	前4	1	2	6/21	—	6/23	6/25	第8/ 9回	
3			4							
⑥ 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開	前5	1	2	7/5	—	7/7	7/9	第10回		
		3	4							
⑦ 第8・9・10章 東アジア世界の展開とアジア諸帝国の繁栄、大交易・大交流の時代	前6	1	2	7/19	—	7/21	7/23	第11/12 /14回		
		3	4							
⑧	この回は、実施されません。									
試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/23	—	8/25	8/27		
後期	⑨ 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	後1	1	2	10/11	—	10/13	10/15	第16/17 /18回	
			3	4						
	⑩ 第12章 産業革命と環大西洋革命	後2	1	2	10/25	—	10/27	10/29	第20/ 21回	
			3	4						
	⑪ 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	後3	1	2	11/8	—	11/10	11/5	第22/ 23回	
			3	4						
	⑫	この回は、実施されません。								
	⑬ 第14・15章 アジア諸地域の動揺、帝国主義とアジアの民族運動	後4	1	2	12/6	—	12/8	12/10	第25/ 26回	
3			4							
⑭ 第16・17章 第一次世界大戦と世界の変容、第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	後5	1	2	12/20	—	12/22	12/24	第27/ 29回		
		3	4							
⑮ 第18・19章 冷戦と第三世界の台頭、冷戦の終結と今日の世界	後6	1	2	1/10	—	1/12	1/14	第31/ 37回		
		3	4							
⑯	この回は、実施されません。									
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	2/7	—	2/9	2/4		

6 先生からのメッセージ

世界史探究は、歴史総合に比べると、扱う年代や国・地域がより広範となり専門性も増します。そして、皆さんが抱いた疑問や探究したい事柄について、ICTも活用することで自ら調べ考察し、表現していこうとする科目です。「歴史を学ぶ」だけでなく、「歴史に学び、歴史を生かす」という主体性をもって受講しましょう。

教科・科目	地理歴史・日本史探究	単位数	4（前期2＋後期2）		
		ライン	3	開講期	前期と後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：日本史B				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。</p> <p>(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を身に付けるとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	詳説日本史（山川出版社）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を身に付けるとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	日本文化のあけぼの、古墳とヤマト政権 律令国家の形成、貴族政治の展開 院政と武士の躍進、武家政権の成立 武家社会の成長、近世の幕開け	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	幕藩体制の成立と展開、幕藩体制の動揺 近世から近代へ、近代国家の成立 近代国家の展開、近代の産業と生活 恐慌と第二次世界大戦、占領下の日本 高度成長の時代、激動する世界と日本	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期2回以上、後期2回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK 高校講座)	
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	① 日本文化のあけぼの古墳とヤマト政権	前1	1		2	4/19	—	4/21	4/23	第2/ 3回	
			3		4						
	② 律令国家の形成	前2	1		2	5/10	—	5/12	5/14		第4/ 5回
			3		4						
	③ 貴族政治の展開	前3	1		2	5/24	—	5/26	5/28		第6/ 7回
			3		4						
	④	この回は、実施されません。									
	⑤ 院政と武士の躍進 武家政権の成立①	前4	1		2	6/21	—	6/23	6/25		第8/10 /11回
3				4							
⑥ 武家政権の成立② 武家社会の成長①	前5	1		2	7/5	—	7/7	7/9	第13/14 /15回		
		3		4							
⑦ 武家社会の成長② 近世の幕開け	前6	1		2	7/19	—	7/21	7/23	第16/ 17回		
		3		4							
⑧	この回は、実施されません。										
試験	レポート前1～前6の内容		本試験		追再試		8/23	—	8/25	8/27	
後期	⑨ 幕藩体制の成立と展開①	後1	1		2	10/11	—	10/13	10/15	第19/ 20回	
			3		4						
	⑩ 幕藩体制の成立と展開② 幕藩体制の動揺①	後2	1		2	10/25	—	10/27	10/29		第21/ 22回
			3		4						
	⑪ 幕藩体制の動揺② 近世から近代へ	後3	1		2	11/8	—	11/10	11/5		第23/24 /25/26回
			3		4						
	⑫	この回は、実施されません。									
	⑬ 近代国家の成立 近代国家の展開	後4	1		2	12/6	—	12/8	12/10		第29/30 /32/34回
3				4							
⑭ 近代の産業と生活 恐慌と第二次世界大戦	後5	1		2	12/20	—	12/22	12/24	第35/ 36回		
		3		4							
⑮ 占領下の日本 高度成長の時代 激動する世界と日本	後6	1		2	1/10	—	1/12	1/14	第37/ 38回		
		3		4							
⑯	この回は、実施されません。										
試験	レポート後1～後6の内容		本試験		追再試		2/7	—	2/9	2/4	

6 先生からのメッセージ

日本の歴史を学習することは、今を生きる私たちにとって大切なことです。日本史の学習を通じて、過去の日本と日本人が歩んできた道のりを追体験でき、さらに日本文化の素晴らしさを再認識することができます。今後の私たちや日本の生き方や在り方について考えていくために、できるだけ毎回のスクーリングに参加し、分からないことがある場合は、教科別質問教室に参加し、解決していくようにしましょう。

教科・科目	地理歴史・地理探究	単位数	4（前期2＋後期2）		
		ライン	3	開講期	前期と後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：地理B				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を身に付けるとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	地理探究（山川出版社） 新詳高等地図（帝国書院）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を身に付けるとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深めようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	地形、気候と生態系、世界各地の自然と生活 日本の自然環境と防災、地球環境問題 農林水産業、資源・エネルギー、工業 第3次産業、交通・通信、貿易・観光 人口、村落・都市	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	生活文化と言語・宗教、国家とその領域 地域区分、現代世界の諸地域、現代世界におけるこれからの日本の国土像	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期2回以上、後期2回以上出席すること。
	放送視聴について 実施しない。
	教科別質問教室について スクーリング回数に含めることができない。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録	
スクーリング 回数	学 習 内 容	レポート				スクーリング実施日				メディア 利用(NHK 高校講座)	
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	①	地形	前1	1	2	4/19	—	4/21	4/23	第2/ 3回	
				3	4						
	②	気候と生態系 世界各地の自然と生活	前2	1	2	5/10	—	5/12	5/14	第4/ 5回	
				3	4						
	③	日本の自然環境と防災 地球環境問題 農林水産業	前3	1	2	5/24	—	5/26	5/28	第6/7 /9/10回	
				3	4						
	④	この回は、実施されません。									
	⑤	資源・エネルギー 工業	前4	1	2	6/21	—	6/23	6/25	第11/12 /13回	
			3	4							
⑥	第3次産業 交通・通信 貿易・観光	前5	1	2	7/5	—	7/7	7/9	第14/15 /16/17 回		
			3	4							
⑦	人口 村落・都市	前6	1	2	7/19	—	7/21	7/23	第19/20 /21/22 回		
			3	4							
⑧	この回は、実施されません。										
試験	レポート前1～前6の内容		本 試験	追 再 試	8/23	—	8/25	8/27			
後期	⑨	生活文化と言語・宗教 国家とその領域	後1	1	2	10/11	—	10/13	10/15	第24/25 /26回	
				3	4						
	⑩	地域区分 中国 朝鮮半島	後2	1	2	10/25	—	10/27	10/29	第28/ 29回	
				3	4						
	⑪	東南アジア 南アジア	後3	1	2	11/8	—	11/10	11/5	第30/ 31回	
				3	4						
	⑫	この回は、実施されません。									
	⑬	西アジア・中央アジア 北アフリカ・サブサハラア フリカ	後4	1	2	12/6	—	12/8	12/10	第32/ 33回	
			3	4							
⑭	ヨーロッパ ロシア	後5	1	2	12/20	—	12/22	12/24	第34/ 35回		
			3	4							
⑮	アンダロアメリカ ラテンアメリ カ オーストラリア ニュージ ーランドと島嶼国 現代世界に おけるこれからの日本の国土像	後6	1	2	1/10	—	1/12	1/14	第36/37 /38回		
			3	4							
⑯	この回は、実施されません。										
試験	レポート後1～後6の内容		本 試験	追 再 試	2/7	—	2/9	2/4			

6 先生からのメッセージ

私たちの身の回りには、世界各地で生産された物があります。このような社会に住んでいると、世界はどこでも同じような考え方で、同じような生活が送られていると思いがちです。しかし、世界には様々な気候や風土、暮らしや文化、考え方があり、多様な人々が生活しています。世界の人々と理解し合うために、できるだけ毎回のスクーリングに参加し、分からないことがある場合は、教科別質問教室に参加し、解決していくようにしましょう。